



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 日 本 コ ン セ プ ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 元 孝 義
(コード番号 : 9386)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 経 理 部 長 若 園 三 記 生
(TEL. 03-3507-8812)

2017-2019年 中期経営計画策定のお知らせ

当社グループは、このたび過年度の実績および経営環境の変化等を踏まえ、3ヵ年の計画を1年ごとに更新するローリング方式の中期経営計画を策定しましたので、お知らせ致します。

なお、詳細は添付資料をご参照下さい。

○ 2017-2019年 中期経営計画…別添

以上



NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

日本コンセプト株式会社

2017 - 2019年
中期経営計画

目次

■ 基本方針	P. 3
■ 企業戦略	P. 4
■ 海外戦略(1) 営業活動の強化による知名度向上	P. 5
■ 海外戦略(2) ネットワークの再構築による競争力アップ	P. 6
■ 国内戦略(1) 支店網の活用による輸送量の大型化推進	P. 7
■ 国内戦略(2) 品質へのこだわりと安全性の飽くなき追求	P. 8
■ 競争力の強化に向けた保有基数の増大	P. 9
■ 連結業績	P. 10
■ 財務指標	P. 13
■ 今後の事業拡大を見据えた人材育成	P. 14
■ 管理体制の充実	P. 15
■ 経営理念	P. 16

【 注 意 事 項 】

本資料に掲載されております日本コンセプト株式会社の現在の計画や見通し、戦略など、歴史的事実でないものは本書面の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知置きください。



国内外物流ネットワークの更なる拡充と 持続的成長を担保する経営基盤の強化

1

進出6年目を迎えた米国におけるビジネスを更に飛躍させるとともに、欧州・アジア地域から日本への輸入取引の拡大を図る。

2

国内7番目となる京葉臨海支店(千葉県富津市)の開設により、主要コンビナートをくまなくカバーする拠点網を活かしたワンウェイ輸送サービスと、保管・加温・積替等の充実した附帯サービスの提供を通じて、国内ビジネスの取り込みを加速する。

3

更なる事業の伸展をにらみ、将来を担う人材の確保を積極推進。また、豊富な専門知識と経験を兼ね備え、お客様に信頼される一流のセールスエンジニアの育成に注力する。

1

- 外資・外資系企業へのアプローチを強化しつつ、きめ細かな営業展開により、ニチコンブランド **NICHICON** を世界に広く浸透させ、顧客を獲得する。

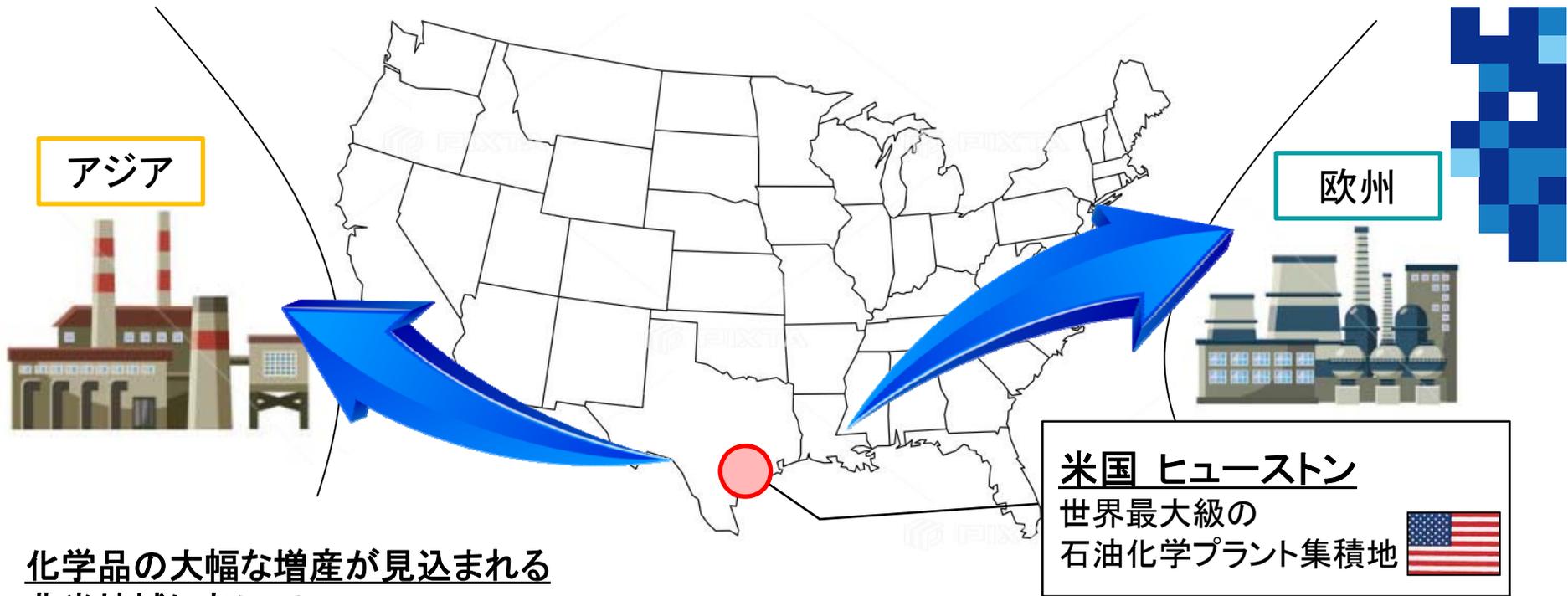
2

- 豊富なノウハウを持つ洗浄拠点と、技術を兼ね備えたセールスエンジニアによる万全なサポート体制を通じて、お客様に安全と安心を提供する。更に高品質な物流サービスを、より多くのお客様にご認識いただくことにより、潜在顧客の獲得を目指す。
- 旗艦拠点である京浜支店(川崎市)に加え、東京湾アクアラインを挟んだ対岸に新設した当社最大規模の京葉臨海支店(富津市)とのシナジー効果を最大限に活かし、関東地区に留まらず全国のお客様に幅広い物流ネットワークを提供することにより、なお一層のサービスの向上を目指す。

3

- 当社の企業ブランドを全国に定着させ、将来を担う優秀な人材を幅広く採用する。
- 支店での技術の習得や海外勤務を通じて、タンクコンテナの取り扱いや化学品の知識、ボーダーレスなコミュニケーション能力を有した『信頼できる営業マン』を育成する。

海外戦略 (1) 営業活動の強化による知名度向上



化学品の大幅な増産が見込まれる北米地域において

- ◇ 外資・外資系企業に対する営業展開をさらに強化し、ニチコンブランド **NICHICON** の知名度向上を図る。
- ◇ 大企業のみならず、中堅・小規模企業へも積極的にアプローチの輪を広げ、取引顧客数の増大を図る。
- ◇ 米国内の営業体制の強化のため、ニューヨークに拠点を新設することを引き続き検討。

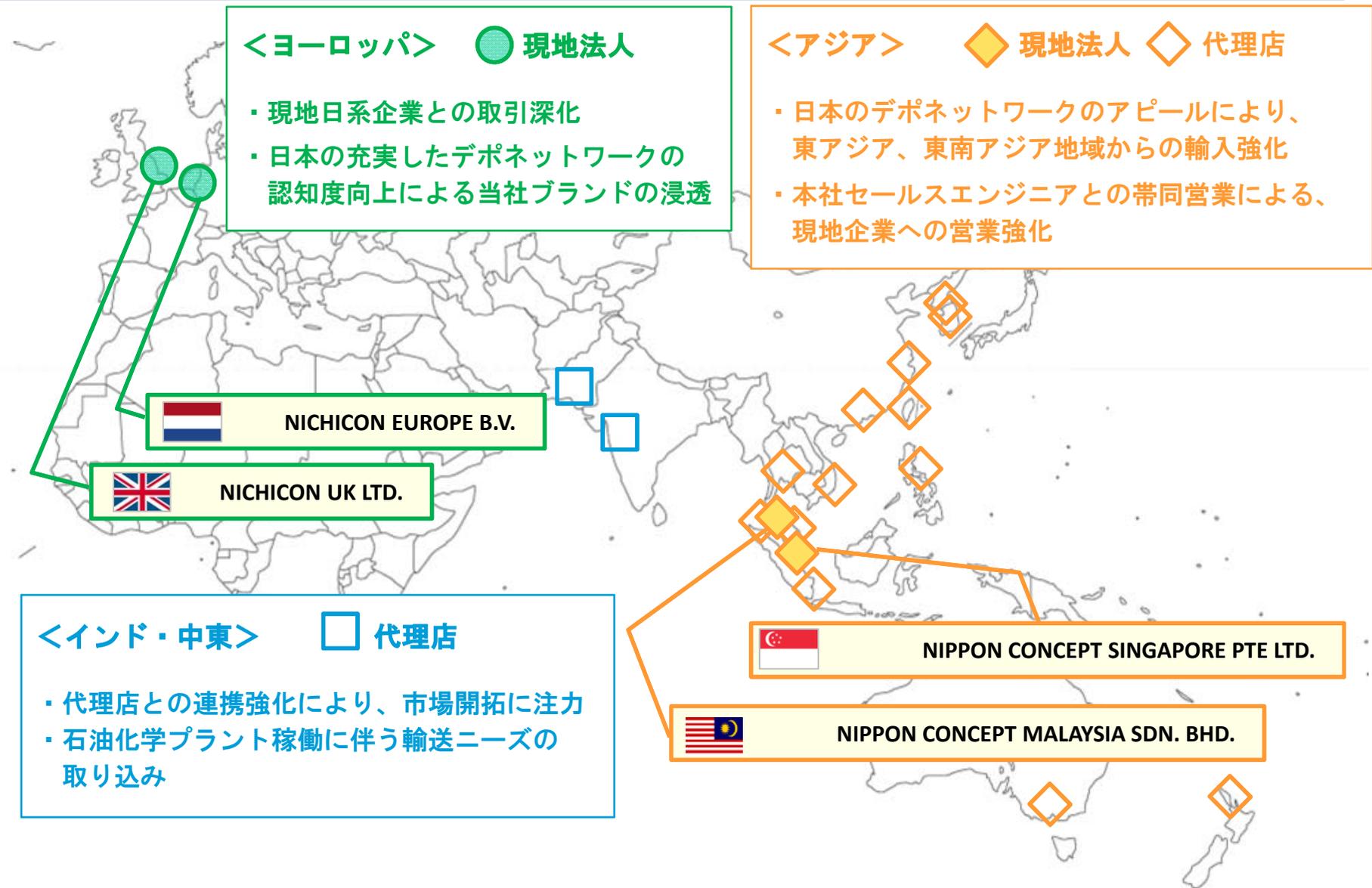
《2020年 エチレン系誘導品の需給バランス予測》

(単位:百万トン)

	北中南米	欧州	アジア
生産量	46.2	20.0	65.2
消費量	40.1	22.3	78.8
バランス(2020年)	+6.0	-2.3	-13.6
バランス(2014年)	+3.1	-0.1	-9.7

出典：経済産業省 世界の石油化学製品の需給動向(対象期間2007~2020年)

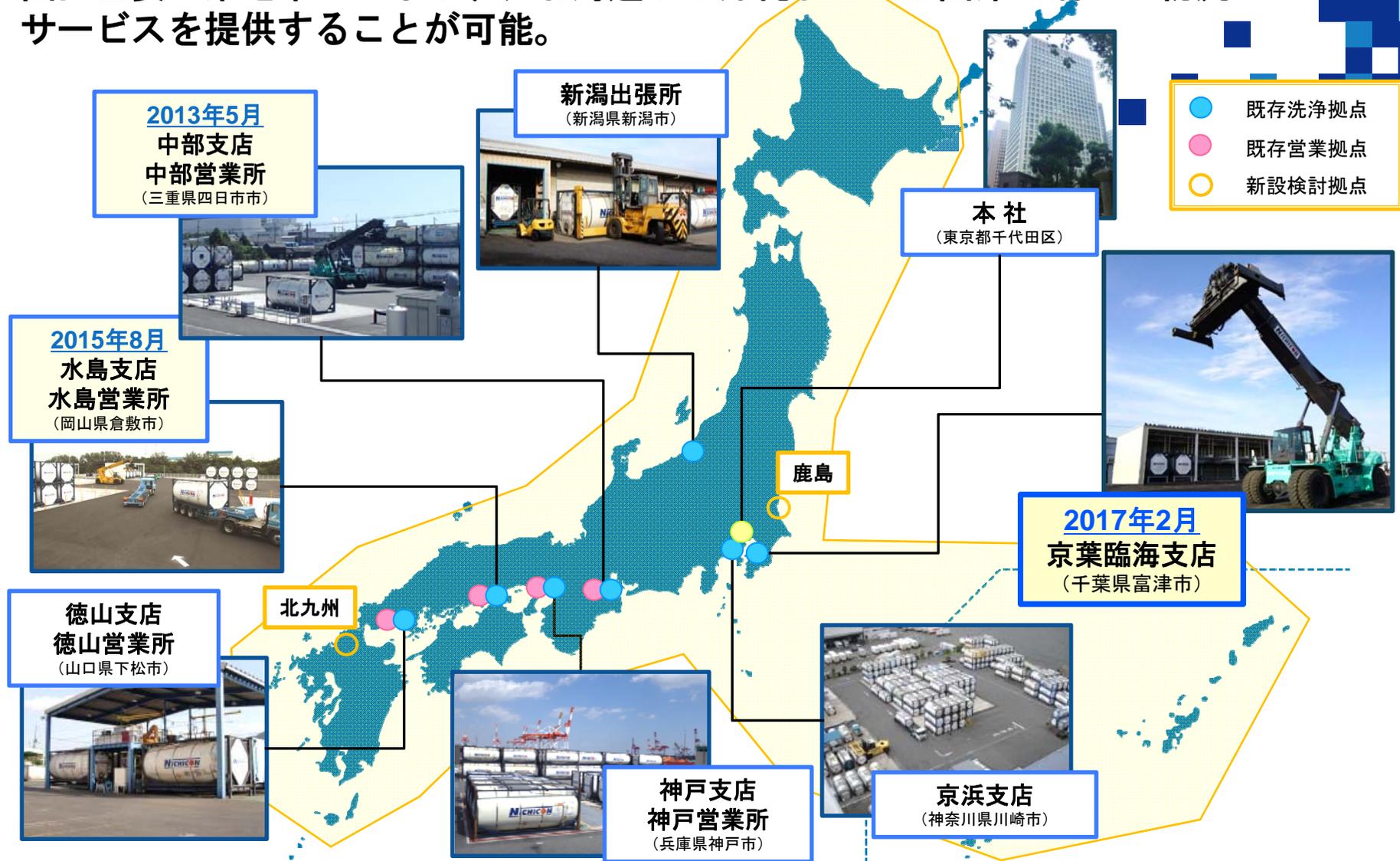
海外戦略(2) ネットワークの再構築による競争力アップ



国内戦略(1) 支店網の活用による輸送量の大型化推進



国内主要工業地帯のみならず、北海道から沖縄までの全国津々浦々に物流サービスを提供することが可能。



国内物流網におけるサービス

機械洗浄工程



乾燥工程



内部検査



気密テスト(1)



気密テスト(2)



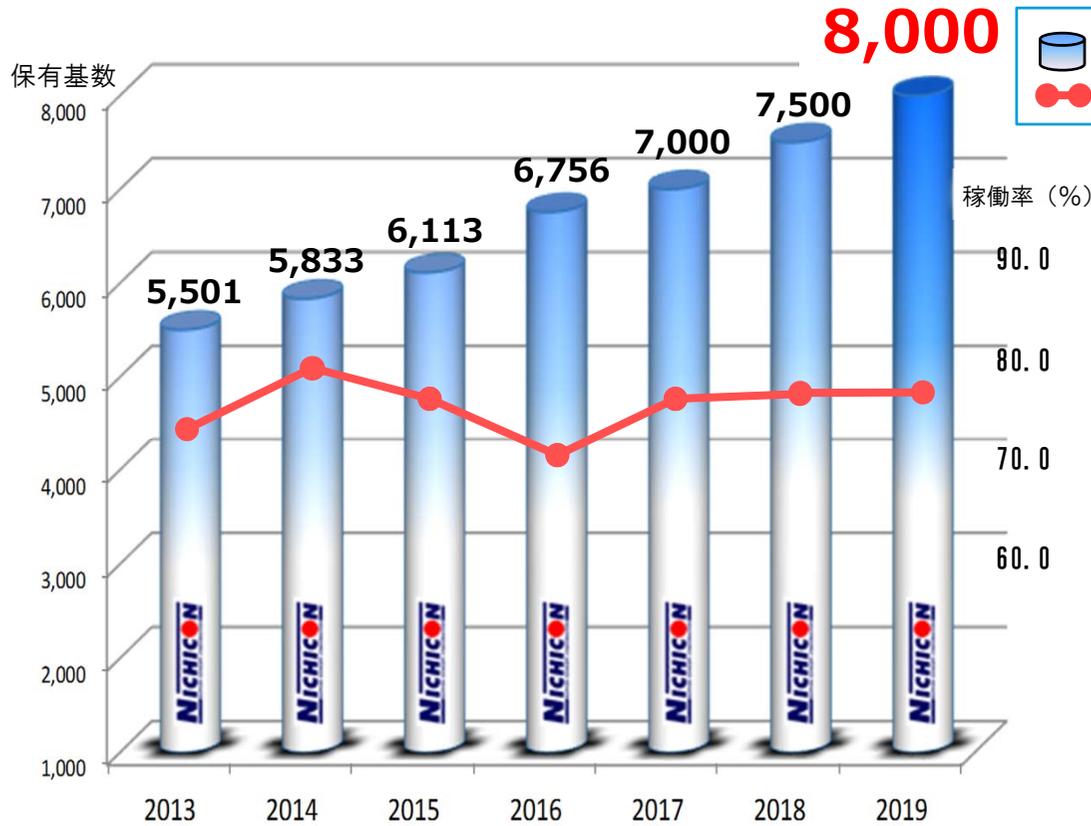
コンテナ出荷



主要コンビナートを網羅した物流拠点から、独自の洗浄技術とノウハウで高品質なコンテナをご提供することにより、ビジネスパートナーとして信頼いただけるお客様を、より一層増やして参ります。

競争力の強化に向けた保有基数の増大

稼働率を意識しつつ、輸送ボリュームの増加に見合った着実な増量を目指す



保有基数世界10位内を目指す

タンクコンテナの保有基数 (2015年12月末現在)

タンクオペレーター	所在	保有基数	シェア
1. A社	海外	35,100	10.7%
2. B社		31,750	9.7%
3. C社		21,500	6.5%
§			
11. 日本コンセプト	日本	6,113	1.9%
他のオペレーター合計	—	234,580	71.3%
オペレーター保有基数計	—	329,080	100.0%
レンタル専業会社ほか	—	129,125	—
総本数	—	458,205	—

(他社本数の出典：ITCO Global Tank Container Fleet Survey_2016)

《新規調達計画》

年度	2017	2018	2019
調達基数(概算)	200	500	500

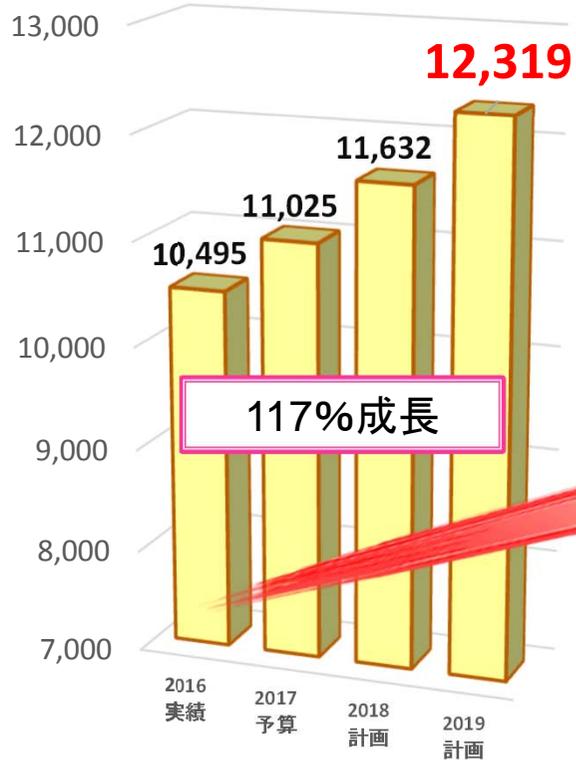
保有基数：期末時点
稼働率：年間平均

連結業績(1)

計画最終年度 売上高123.1億円、営業利益19.6億円の達成

売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

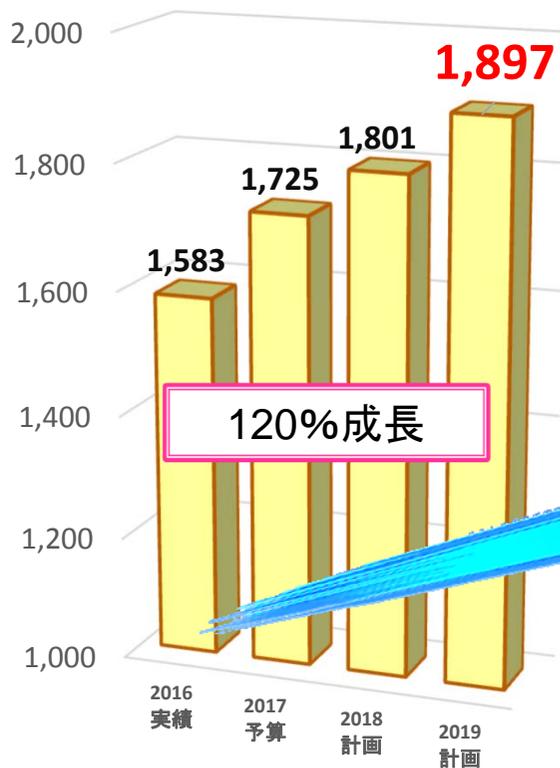


連結業績(2)

計画最終年度 経常利益18.9億円、EPS100円超の達成

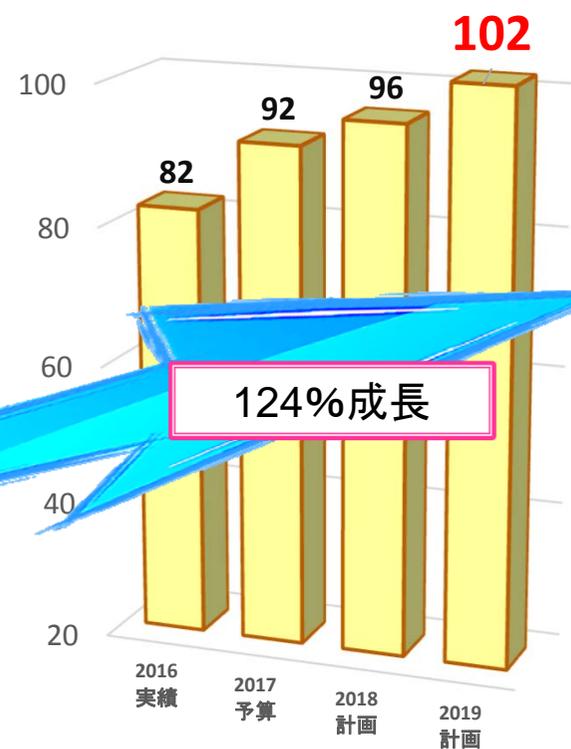
経常利益

(単位:百万円)



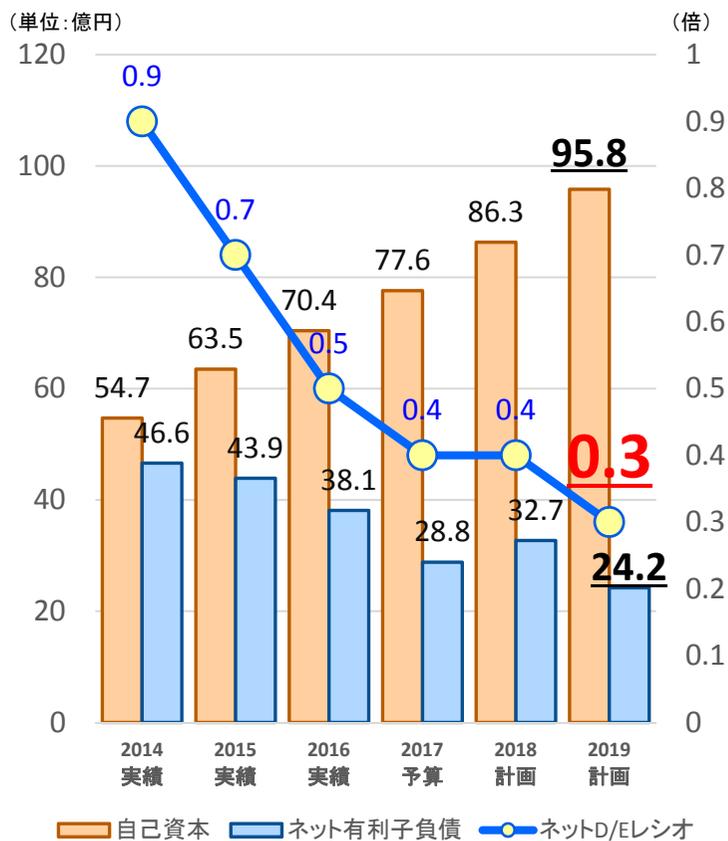
EPS(一株当たり当期純利益)

(単位:円)

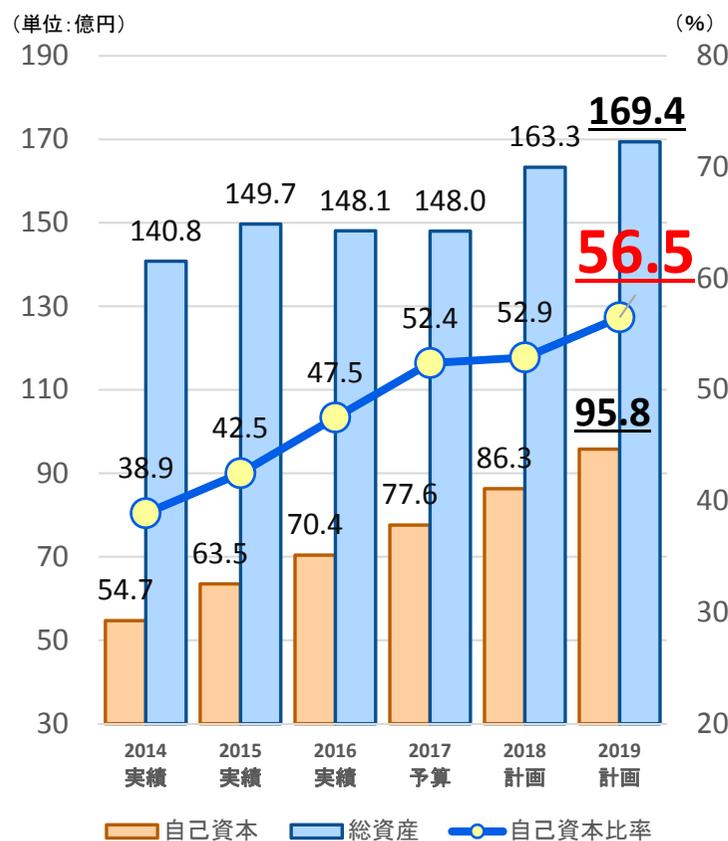


連結業績(3)

ネットD/Eレシオ



自己資本比率



財務指標

(単位：億円)

連結	2013年	2014年	2015年	2016年 (実績)	2017年 (予算)	2018年 (計画)	2019年 (計画)
有利子負債	76.0	70.5	69.3	63.8	55.7	61.8	57.9
現金預金	20.6	23.9	25.3	25.6	26.8	29.0	33.7
ネット有利子負債残高	55.3	46.6	43.9	38.1	28.8	32.7	24.2
自己資本	43.7	54.7	63.5	70.4	77.6	86.3	95.8
総資産	136.5	140.8	149.7	148.1	148.0	163.3	169.4
自己資本比率(%)	32.0	38.9	42.5	47.5	52.4	52.9	56.5
ネットD/Eレシオ(倍)	1.3	0.9	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3

≫ タンク購入及び国内新規デポ開設等により、毎年5～10億円程度の設備投資を見込む

≫ 成長を堅持しつつ、自己資本比率60%、及びネットD/Eレシオ0.5倍以下とすることを目標として、有利子負債の圧縮に努めてゆく方針

(単位：億円)

連結	2013年	2014年	2015年	2016年 (実績)	2017年 (予算)	2018年 (計画)	2019年 (計画)
税引前当期純利益	19.9	18.0	19.7	15.7	17.1	17.9	18.8
支払利息	2.2	1.9	1.6	1.1	0.7	0.7	0.7
減価償却費	6.8	7.2	8.0	8.6	9.1	9.7	10.3
E B I T D A	29.0	27.2	29.5	25.5	26.9	28.3	29.9

比率は期末ベース

今後の事業拡大を見据えた人材育成

全国から優秀な人材を積極的に採用し、優れた人格を兼ね備えた社員を育成するため、独身寮を2016年に新設しました。



木更津独身寮



東京湾アクアライン木更津金田インター近くに位置し、本社(東京)・京浜支店(川崎)・京葉臨海支店(富津)へのアクセスが至便。

生活に必要な家電・什器を備えた個室に加え、仕事以外のコミュニケーションも深められるよう、食事付きの広いミーティングルームを完備。

通勤の利便性だけでなく、共同生活を通じて人格の形成にも役立つ社員教育を徹底。

安全表彰(神戸支店)



弊社神戸支店が『優良危険物事業所』として神戸市長より名誉ある表彰を受けました

平成28年6月、神戸市消防局・神戸市危険物安全協会主催で行われた、「神戸市危険物安全大会」において、当社の神戸支店が『優良危険物事業所』として神戸市長より表彰をいただきました。

神戸市全体で約1,270の選考対象事業所の中から、事故や違反等の有無はもとより、事業所施設の改善や維持管理、防災訓練の実施など、危険物の取り扱いに最も精通し、安全対策が優秀であると認められた5社のうちの1社として当社が表彰されたものであります。



【危険物貯蔵施設】



【危険物の取扱業務】

今後とも、世界基準(ISO)準拠のタンクコンテナによる危険物の国際間輸送を行う企業として『安全第一』をモットーに、全社を挙げて業務に邁進して参ります。

新システム開発

**新基幹システム構築プロジェクトが進行中
2018年初頭の稼働を目指します**

10年以上前に導入したソフトウェアを、現在の業務スタイルやお客様のニーズ等を踏まえて開発した最新のシステムに刷新。

また、海外現地法人ごとに異なるシステムの統合を図る。これによりグローバルレベルでのタイムリーな情報の共有と大幅な省力化を実現、利益計画達成に向けた大きな推進力としての活用が可能。

【新システムイメージ】



わたしたちは、効率的な国際液体物流システムを構築・運営することにより、世界中のお客様に貢献します。

わたしたちは、きめ細かい高品質のサービスをお客様に提供します。

わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有し、国際液体物流のプロフェッショナル集団となることを目指します。

わたしたちは、公共性・信頼性・国際性を備え、社会に誇り得る会社となることを目指します。

